

(別紙2)

平成31年度離島漁業再生支援交付金漁業集落实績報告

令和2年5月21日

1. 対象漁業集落の概要

都道府県名：沖縄県

市町村名：宮古島市

島名：伊良部島

協定対象漁業集落名：佐良浜漁業集落

協定参加世帯数：112世帯（117人）

（うち漁業世帯数：112世帯（117人））

2. 協定締結の経緯

宮古島市は八重干瀬などに代表される広大な珊瑚礁群に囲まれるとともに、島の南北に黒潮の潮流が流れるなど良好な海域環境を有しており、それらを活用した一本釣漁業、パヤオ漁業、網漁業、潜水器漁業、モズク養殖業等が営まれている。しかしながら、良好な漁場を有している一方、離島という地理的特性に起因する高コスト構造等の条件不利性などから漁業者の減少が進んでおり、この状況を放置すれば本市の漁業集落は一層衰退し、集落及び水産業が持つ多面的機能が低下することも懸念されている。

そのようなことから、漁業集落が行う漁場の生産力の向上や漁業の再生に関する実践的な取組などの活動を通じて漁業の再生を図りつつ、水産業が発揮する多面的機能の維持・増進に向け、佐良浜集落において集落協定を締結し、離島漁業再生支援交付金による漁業再生活動に取り組むこととした。

3. 取組の内容

①漁場の生産力の向上に関する取組状況

漁業被害をもたらしているため食害生物等の駆除の取り組みでサメ駆除を実施し、漁業被害の軽減及び安全操業を図ることとした。



食害生物等の駆除（サメ駆除 仕掛け回収）



食害生物等の駆除（サメ駆除 陸揚げしたイタチザメ）

## ②漁業の再生に関する実践的な取組状況

流通体制改善の取り組みでは、ツムブリ（ナガユ）の畜養を実施し、荒天にも漁獲物販売が行えるよう取り組んだ。また、一般市民への魚食普及に向けたイベント（お魚まつり等）を実施し、水産物の消費拡大を図ることとした。



流通体制改善（畜養 ツムブリ釣り）



流通体制改善（畜養 釣り上げたツムブリ）



流通体制改善（畜養 生けすへ移す作業）



流通体制改善（畜養 生けす製作）



魚食普及（朝市 事前準備グルケン釣り）



魚食普及（朝市 お魚つかみ取り）



魚食普及（パヤオまつり 会場の様子）



魚食普及（パヤオまつり 鮮魚販売）

#### 4. 取組の成果

交付金交付対象漁業者所得平均 1,617 千円

漁業集落漁業就業者数 117 名

漁場の生産力の向上に関する取組においては、食害生物等の駆除の取り組みでサメ駆除を実施したことにより漁業被害の軽減及び安全操業の確保が図られた。

漁業の再生に関する実践的な取組については、ツムブリ（ナガユ）の出荷調整のための畜養試験を行い流通体制の改善を図った。また、魚食普及の取り組みでは、宮古島漁業集落が主催する朝市への参加やパヤオまつりの開催を実施した。朝市ではお魚つかみ取りを実施、パヤオまつりでは、カツオ・マグロ 1,631kg の販売や参加した人たちが水産物に触れる機会となり、地元水産物の消費拡大を図ることができた。